

沢田選手：今、ラジオということで、自分たちがやっているゴールボールも音だけで試合の状況が分かったりとかプレーしたりするので、ラジオを聞いている方々は何かを聞いて情景を思い浮かべるということに慣れている方が多いと思うのでぜひ、日本選手権とかも YouTube で配信されたりしていますので、もし興味がありましたら、見ていただけますとまたゴールボールの普及にもつながると思うのでぜひ見てみてください。

♪ 第2回 SAGA パラスポ 2026 （ジングル）

徳丸：9月12日時刻は正午になりました。

こんにちは徳丸英器です。

土曜のお昼いかがお過ごしですか。

ここからのお時間はFM佐賀特別番組

SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技をお送りします。

この後12時55分までお付き合いください。

徳丸：SAGA パラスポは佐賀県が独自に開催しているパラスポーツの全国大会で昨年に続き今年が2回目となります。

先月行われたゴールボールを皮切りに来年3月まで全7競技、県内7つの会場で熱い戦いが繰り広げられます。

FM佐賀では全ての会場で公開録音を実施。

パーソナリティが各競技会場を訪れ選手たちに熱いエールを送ります。

記念すべき1競技目はゴールボール。

視覚に障害がある方を対象に考案された球技で鈴の入ったボールを転がすように投げ合って得点を競います。

試合は静かな環境で行われ、「静寂の中の格闘技」と言われています。

そのゴールボール競技、8月29日30日の2日間吉野ヶ里町文化体育館で開催されました。

大会には佐賀県内をはじめ福岡、高知、そして埼玉から合わせて7チームが出場2日間にわたって熱い戦いが展開されました。

FM佐賀では大会2日目の30日、会場内に特設ブースを設け選手、大会関係者、ボランティアの皆さん、そしてゴールボールを体験したお客様にお話を伺いました。今日の特別番組ではその模様をお届けしていきます。

先ほど冒頭でお届けした、今大会で優勝を果たした埼玉 Triple Search の沢田和也選手のお話にあったように、ラジオという想像の翼を広げてお楽しみください。

FM佐賀特別番組 SAGA パラスポ2026 ゴールボール競技

この番組は佐賀県の提供でお送りします。

♪第2回 SAGA パラスポ2026 (ジングル)

8 月 30 日 日曜日

吉野ヶ里町文化体育館の特設ブースで最初にお話を伺ったのは大和特別支援学校に勤務されている尾形広美さんです。

今大会では日本ゴールボール協会の一員として審判として参加されました。

去年まで 10 年間佐賀県立盲学校にお勤めだった尾形さんはここ 5 年ほどゴールボールに携わっていらっしゃいます。

徳丸：先生から見てゴールボールってどういう競技ですか。

尾形さん：そうですね。視覚障害がある方もない人（晴眼者）も一緒にプレーをできる。アイシェードを一つつけることで見え方を同じ条件にしてコミュニケーションを取りながら一緒にプレーできるっていうのがすごく素晴らしいなと思っています。

徳丸：先生はこの大会に、第 1 回から関わっていらっしゃるということですけど全国的に見てこの SAGA パラスポってどういう大会ですか？

尾形さん：パラスポーツを全国大会と謳ってされているところは少ないかなと思うんですけど、佐賀県はスタートの時から、6 競技こなして。

そして、第 2 回と継続して開催をしてもらっているのですごく私たちにとってもありがたいなと、嬉しいなと思っています。

徳丸：それがこの佐賀にあるっていうのはやっぱり誇らしいですね。

尾形さん：そうですね。2024 の国スポ・全障スポが一つのきっかけだったと思うんですけどそれが継続して佐賀県の中でパラスポーツがやる人も見る人も支える人も盛り上がってきつつあるかなと思っています。

徳丸：継続って力ですね。

尾形さん：本当ですね、本当に実感します。

徳丸：最後に先生からリスナーの皆さんにメッセージをお願いします。

尾形さん：見える人見えない人が一緒になってプレーできる場所にすごく喜びを感じるスポーツかなと思っています。

その世界観といたら、すごく心が豊かになるというか心も体も元気になれるので一度覗いてもらえたらいいなと思っています。

徳丸：この時間、競技役員の尾形広美先生にお話を伺いました。

ありがとうございました。

尾形さん：ありがとうございました。

（試合会場音声）

徳丸：FM 佐賀特別番組

SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技

先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の様をお届けしています。

では、ここで改めて「ゴールボール」という競技についてご紹介します。

1 チーム3名で、全員が「アイシェード」と呼ばれる目隠しをします。

これは、障がいの程度によって競技力の差が出ないようにするために、選手は完全に目隠しをして、同じ条件のもとで競技を行います。

使用するボールは、バスケットボールとほぼ同じ大きさです。

しかし、重さは1.25kgもあり、バスケットボールのほぼ2倍の重量です。

ボールの中には「鈴」が入っていて、転がしたり投げたりすると音が鳴り、この音を頼りに、選手たちはボールの方向、速さ、バウンドの状態などを判断します。

コートの大きさは、18m×9m。6人制バレーと同じ広さです。

ゴールの長さは、コートの横幅と同じ9m。高さは1.3mあります。

サッカーやハンドボールと違い、ゴールがコートと同じ横幅があるので、出場する

3人の選手全員がフォワードであり、ディフェンスであり、キーパーでもあります。

そんなゴールボール競技。男子のトップ選手になるとその球速は初速で時速60キロから70キロに達すると言われています。

この速さですと、およそ0.5秒で相手陣地までボールが達するという計算です。

選手たちはこの0.5秒の間に、どの方向にどんなボールが来るか判断し、反応しなければなりません。

トップ選手になると、投球前の助走の足音でボールの方向を予測。

最初にバウンドした音で、バウンドの高さやボールの速さを判断すると言われています。

ぜひ機会があれば、選手たちの研ぎ澄まされた感覚に注目してみてください。

この大会は「パラスポーツの全国大会」ということで各地から強豪チームが集結しました。

その中でも、地元・佐賀の選手の皆さんもキラリ！輝きを見せてくれました。

徳丸：では、この時間ブースにこのお二人に来ていただきました。自己紹介をお願いします。

桑野選手：SAGAN CO の桑野真弥です。

古賀選手：SAGAN CO の古賀一興です。

徳丸：よろしくお願いします。

桑野選手、古賀選手：よろしくお願いします。

徳丸：選手のお二人にお越しいただきましたけれども SAGAN CO とは、どういうチームなんでしょう。

古賀選手：SAGAN CO は佐賀県視能訓練士会の会員の中で有志を募って発足しました。

徳丸：佐賀県視能訓練士会？

古賀選手：視能訓練士というのは、眼科に特化した検査や訓練を行う業務を主に行っています。その中で佐賀県視能訓練士会というのを立ち上げて、勉強会をしているところです。

徳丸：なるほど、そういったメンバーでゴールボールをやってみよう。

桑野さんから見てゴールボールの魅力ってどういうところにありますか？

桑野選手：アイシェードという目隠しをして、晴眼者だったり視覚障害者いろんな方が平等にプレーできるというのが一番いいかなと思いますね。

徳丸：古賀さんは晴眼者でいらっしゃるんですけども

古賀選手：はい

徳丸：どうですか?実際ゴールボールというものをやってみて

古賀選手：やっぱり急に視覚を塞がれるという状況が、普段無いことなので、やっぱりすごく難しい競技だなと思います。

でも、すごく楽しい。空間認識ができるとすごく面白くてゴールが決まった時とか止めた時とかすごく楽しく思っています。

徳丸：ゲームとして一つ魅力がそこにあるという普段ない感覚を共感する意味でもすごく新しい境地ですよ。

では、最後にリスナーの皆さんに一言ずつメッセージをお願いします。

では、古賀さんから

古賀選手：はい、ゴールボールは視覚障害有無に関係なくできるスポーツですのでいろんな方に体験していただいてもっとゴールボールが広まっていければと思っています。

徳丸：では、桑野さんお願いします。

桑野選手：佐賀県では時折、体験会などを開いていますのでそこで一緒にプレーができればと思います。

徳丸：この時間 SAGAN CO 古賀一興さんそして桑野真弥さんにお話を伺いました。

ありがとうございました。

古賀選手、桑野選手：ありがとうございました。

♪ 第2回 SAGA パラスポ 2026 (ジングル)

徳丸：お一方ずつ自己紹介をお願いします。

草場選手：はい 佐賀盲ストライカーズの草場です。

平松選手：はい 佐賀盲ストライカーズの平松です。

徳丸：はい よろしくをお願いします。

草場選手、平松選手：よろしくをお願いします。

徳丸：お二人が所属する佐賀盲ストライカーズは、どんなチームなんでしょう。

平松選手：生徒が3人。OBが1人。あと先生が1人の5人のチームで構成しています。

徳丸：これ、学校の皆さんで？

平松選手：そうですね。

徳丸：県立盲学校の？

草場選手：はい

徳丸：じゃあ、普段は一緒に学校に通っているってことですよね。

草場選手：按摩とか針・きゅうの国家資格を取るために今、自分たちは通っています

徳丸：お二人とも？

草場選手、平松選手：はい

徳丸：じゃあ、しっかり学び舎の中でいろんな生活を共にしながらチームメイトで

草場選手：朝からずっと一緒です（笑）

徳丸：うわ、もうじゃあチーム結束力すごいですね

草場選手：もう間違いないですね（笑）

徳丸：このゴールボールのチームとしての活動ってどういう。

平松選手：普段、毎日筋トレをしたりランニングをしたりメンバーが全員集まるときは、集まって練習をしたりしています。

草場選手：あとは、自分たちも部活とか生徒会の活動とかもあるので空いているときに個人で練習しているような感じですね。

徳丸：他にも部活されているんですか？

草場選手：学校の部活がありますね。フロアバレーがあります。

徳丸：他の競技もされているんですね

草場選手：視覚障害者の野球だったりとかバレー、陸上、あとサッカーも。

徳丸：めちゃめちゃスポーツマンじゃないですか。

草場選手：ありがとうございます（笑）

徳丸：いろんな競技をされているからこそですけど、お二人にとってゴールボールってどんな競技ですか？

草場選手：うーんこれは…

平松選手：格闘技（笑）

徳丸：あっ、格闘技寄りなんですね！

平松選手：寄りですね。

徳丸：どういうところが？

草場選手：正面に同じ人数、同じ条件、誰も見えない状態で重たいボールを思い切り投げ合う。それを体で止めるんで。

徳丸：じゃあ、筋トレとかってそういうところに生きてくるんですね。

平松選手：ものすごく重要です。あと体力。

徳丸：なるほど！SAGA パラスポという強豪チームが集まる大会ってなかなかないですね。

草場選手、平松選手：そうですね

草場選手：やっぱり YouTube とかでは見れるんですけどなかなか自分たちが体験できるのは、ありがたいですね。あと、やっぱり地元でできるとか最高ですね

徳丸：第2回にして、超進化してる感じですね。

草場選手：やばかったです。やる気満々です。

平松選手：やる気は満々です

徳丸：では、このラジオをお聞きの皆さんに一言ずつ

平松選手：障害者のスポーツで、健常者も障害者も一緒に熱くプレーができるスポーツが他にもいっぱいあるので、皆さんも一緒に活動に参加したり、応援に来てもらったら嬉しいです。

徳丸：ありがとうございます。そして、

草場選手：自分もさっき平松が言った通り。パラスポーツっていうのを全然知らなかったのだからやっぱりこういう、自分みたいに知らない障害者の人とかもいるかもしれないんで多くの人に知ってもらって、一緒に健常者の人たちとバチバチにやれるのが、やっぱりパラスポーツのいいところなんで、今後もまた、パラスポーツを広めるようなお手伝いができたらなと思ってます。

徳丸：さらなる超進化、期待しております！

草場選手、平松選手：ありがとうございます。

徳丸：この時間、佐賀盲ストライカーズ平松克昌さん、そして草場亮佑さんにお話を

伺いました。

ありがとうございました。

草場選手、平松選手：ありがとうございました。

徳丸：FM 佐賀特別番組

SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技

先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしています。

今の選手の話の中に出てきた晴眼という言葉。

「晴」に「眼（マナコ）」と書きます。

会場で配布されたリーフレットの選手紹介の欄にはお名前・背番号の他に全盲・弱視。そして、この晴眼という障害の有無が示されていました。

そんな、チーム、選手の皆さんをコートはもちろん控室や様々な動線でサポートしたのが佐賀県のスポーツシーンを支えるボランティア、サガンティアと神埼清明高校の皆さんでした。

円城寺 実さん：多久から来ました円城寺実と申します。

円城寺 幸子さん：そして、同じく円城寺幸子と申します。よろしくお願いします。

徳丸：ご夫婦でいらっしゃるということなんですけどお二人はサガンティアのお二人ですね。

円城寺 実さん：はい

徳丸：SAGA2024 国スポ・全障スポでもたくさんのサガンティアの皆さんが、この大会を支えていらっしゃるって成り立ったというのは皆さんもご存知だと思うんですけど

ども、お二人はその時から？

円城寺 幸子さん：はい。2024 をきっかけに参加させてもらっております。

徳丸：今までどんな大会に？

円城寺 実さん：唐津での車椅子バスケットボール大会とか。

円城寺 幸子さん：バレーですね。陸上とかいろいろ。

徳丸：実際やってみる中で、魅力って何でしょうか。

円城寺 幸子さん：本当にいろんな方とお知り合いになれて、楽しくやっています。

徳丸：まず、自分が楽しいっていうところがお二方の中であるということですね。

円城寺 実さん、幸子さん：はい

徳丸：ラジオをお聞きの皆さんにメッセージをお願いします。

円城寺 実さん：サガンティア。いざ飛び込んでみると、皆さん気さくで優しく声をかけていただいってもらって楽しくやらせてもらっております。

円城寺 幸子さん：こういう風に徳丸さんにもお会いできて、やってよかったなと思っています。(笑)

徳丸：お二方の柔らかい感じの笑顔がとても素敵ですし、いい環境で頑張られてるんだなっていうのを感じました。

これからも頑張ってください。

円城寺 実さん、幸子さん：ありがとうございます

徳丸：この時間、サガンティアの円城寺 実さん、幸子さんにお話を伺いました。

ありがとうございました。

円城寺 実さん、幸子さん：ありがとうございました。

内田さん：はい。佐賀県立神埼清明高等学校3年 内田香里奈です。

徳丸：そして

尊田：佐賀県立神埼清明高等学校3年 尊田日菜です。

徳丸：よろしくお願いします。

内田さん、尊田さん：よろしくお願いします。

徳丸：お二人は今日、何のお仕事をされているんですか？

内田さん：状況を説明しての手引き歩行だったり、選手の方とコミュニケーションを取ったりするボランティアをさせていただいてます。

徳丸：手引き歩行ってどういうことをされるんですか？

尊田さん：手を肩や腕に掴んでもらって、案内することです。

徳丸：普段からお二人はそういったボランティアをやられているんですか？

内田さん：福祉系列でのボランティア活動っていうんですかね？

学科でのボランティア活動をやってます。

徳丸：なるほど、学校でも福祉を学んでいる中で、実践する意味で今日来られてるんですね。

内田さん、尊田さん：はい

徳丸：プロにこれからなろうという卵のお二人ですね。

実際に、学校で学んでいることで気をつけていることって何かありますか？

尊田さん：気をつけていることは、選手の方が怪我しないようにすることや、今どのような状況か説明することを大切にしています。

徳丸：実際、この SAGA パラスポに来てみてゴールボールって見たことありました？

内田さん：初めて見ました。

徳丸：初めて見た感想は？

尊田さん：やっぱりすごいなって思いました。実際に学校でやってみたんですけど、すごく難しくてでも、音だけで聞き分けることがすごい上手だなって思いました。

徳丸：それぞれの夢を聞いてもいいですか？

内田さん：私の将来の夢は看護師なので、健常者の方だけではなくて障害のある方に対してもサポートできるような看護師を目指したいと思っています。

尊田さん：私は利用者の方に寄り添った介護がしたいので、もっと心理系の方を学びたいと思っています。

徳丸：この SAGA パラスポで若い力が支える側として、育っているっていうのはすごく熱くなるお話でした。

ありがとうございました。

内田さん、尊田さん：ありがとうございました。

徳丸：この時間、神埼清明高校の内田香里奈さん、尊田日菜さんにお話を伺いました。

お二人ありがとうございました。

内田さん、尊田さん：ありがとうございました。

第2回佐賀パラスポ2026は今回のゴールボール競技を皮切りに、来年3月まで県内各地で競技が行われていきます。

それぞれの会場でのサガンティアそして、地元高校生の皆さんの活躍にもぜひご注

目ください。

さて、今回のゴールボール競技では会場内に体験コーナーが設けられアイマスクをしてプチゲーム体験ができました。

（徳丸体験音声）

（ボールの音）

徳丸：え？もう来ました？

来ました今？

スタッフ：はい、来ました。

徳丸：えーずっとシャリシャリ言ってます。

もう一回いいですか？

スタッフ：はい。（ボールを投げる音）

徳丸：あ、こっち、おー止めた！止めたけど、結構怖い！

これは結構ハードなスポーツですね。

徳丸：さあ、今体験をされたばかりのお二人にお話を伺おうと思うんですけど

お二人はゴールボールされるのは初めてですか？

体験者（女性）：はい、初めてです

体験者（男性）：初めてです。

徳丸：ゴールボールがどんな競技かはご存知でしたか？

体験者（女性）：詳しいルールはよくわからなかったんですけど、ボールを掴んで投

げるという簡単なところまでは理解していました。

徳丸：実際にボールを触ってみて、そして、体験してみていかがでしたか？

体験者（男性）：実際、本当に目が見えない状態での音の聞き分けだけで、やることが選手たちがどれだけすごいのがよくわかりました。

体験者（女性）：自分は真っ直ぐ投げているつもりでも、全然違う方向に投げている。その集中力がすごいと、選手の方に本当に拍手を送りたいと思いました。

徳丸：実際に、何回かやっているうちになんとなくお2人とも感覚が掴めていたような気がしますけど、どんな感じですか？そのボールが近づいてくるとき。

体験者（男性）：音が大きくなるんで、なんとなく、どこにボールが来るのかなというのが、わかるようになってきました。

徳丸：初めてやっても楽しめる要素はありますか？

体験者（女性）：とても楽しめると思います。家族で楽しめるんじゃないかなと思いました。

徳丸：ありがとうございます。

体験者：ありがとうございます。

第2回 SAGA パラスポ 2026 では、この後行われる競技でもパラスポーツ体験コーナーが設けられます。

今、この放送をお聞きのあなたもぜひチャレンジしてみてください。

また、それぞれの会場では、障害福祉施設によるマルシェも開催されます。

先月のゴールボールの時も吉野ヶ里町文化体育館の1階ホールに、2日間で延べ15店舗が出展。コーヒー、お惣菜、クッキー、パン、スイーツなどなど、個性的で美味しい商品がずらりと並んでいました。

そんな、マルシェコーナーに、だーゆんこと園田有由美さんが取材に伺いました。

園田さんは今回、歌のゲストでの出演でしたが、三度の飯よりご飯が大好きというグルメハンターぶりを発揮。ご自身の出番の合間を縫ってマルシェコーナーにお邪魔しました。

園田：こんにちは。お店の名前を教えてください。

レインボーハウスさん：佐賀市水ヶ江から来ましたレインボーハウスと申します。

園田さん：私はもうすでに知っているんです。インスタもフォローしているんです。

レインボーハウスさん：ありがとうございます。

園田：以前、別のお祭りとかでも一緒したことがあって、、私のライブにも出店していただいたことがあるんですよ。でも、私もまだ知らないことがあるかもしれないからおすすめの商品を教えてもらってもいいですか？

レインボーハウスさん：焼き菓子・クッキーとかマドレーヌを販売させていただいているんですけど一番の人気商品はマーブルクッキーになります。

園田：いやー、これ見た目も可愛いんですよ。黒と白のこのシマシマ模様で。しかもココアの香りも美味しいし

レインボーハウスさん：ありがとうございます。

園田：あとね、食べやすいサイズ感なんで。罪悪感も少ないですね。

レインボーハウスさん：もう、一個食べたら何個もいっちゃいます。

園田：結局全部食べちゃうんですけどね。止められんけん。

あと、私が好きなのはこのケーキ！

レインボーハウスさん：カットケーキが4種類ありまして、紅茶、抹茶、金柑、キャラットですね。季節によって、あんずケーキかアップルケーキがあります。

園田：私のお気に入りはこの金柑なんですよ。めっちゃ美味しかったです、前いただいて。

レインボーハウスさん：ドライフルーツの金柑と一緒に焼いています。

園田：いや、しかもさ、これプレゼントとかに金柑のケーキちょっとおしゃれじゃないですか？

レインボーハウスさん：なかなか売られてないですね、金柑の味は。

園田：あと一個だけちょっと私が気になったのを聞いてもいいですか？

もち麦?これがすごい気になってて。

レインボーハウスさん：はい、むらさきもち麦と言いまして国産の皮付きもち麦です。こちらの商品はサガビソウさんからのお仕事をいただいて、うちの利用者さんたちと一緒に袋詰めをしたり一緒お仕事をして、販売させていただいております。

園田：じゃあ、みんなもこのおいしいもち麦プラス、愛情もこめこめして、ここに並んでるってことですね。

レインボーハウスさん：はい、もう愛情たっぷりでございます！たくさんありますので皆さんよろしくお願いします。

園田：私が見てた感じ、選手の方たちも自分の試合じゃない時にお店見に来られて

いろいろあるなと見ていらっしやったんで、私も後でまた遊びに来ます。

レインボーハウスさん：はい、よろしくお願いします。

園田：ありがとうございます。

園田：こんにちは

オアシスみふねさん：こんにちは、ようこそいらっしやいました。

園田：ありがとうございます

オアシスみふねさん：オアシスみふねと言います。

園田：オアシスみふね、みふねってことは武雄から？

オアシスみふねさん：よくご存知ですね、武雄から参りました。山内町です。

園田：そうなんですね。紅茶を出されてるんですね。

オアシスみふねさん：はい、武雄市で作ったレモングラスに

レモングラスだけのもあるんですが

紅茶を混ぜたのもございます。

園田：おしゃれ～

オアシスみふねさん：でしょ～

園田：おしゃれだし、この紅茶の隣にあるアップルパイが

オアシスみふねさん：はい

園田：もうこの黄金セットじゃないですか

オアシスみふねさん：ありがとうございます

園田：しかもアップルパイ、サイズ結構しっかりありますね。

オアシスみふねさん：そうですね、大きさは大体 20 センチぐらいで半月状になって
いますから、とても大きいんですけども食べるとあっという間になくなります。

園田：そうなんですね。いや、もう本当に見ただけで焼き目とかもおもしろい！
持ってもいいですか？

オアシスみふねさん：どうぞお手にとってください

園田：ほらね、思った通り。ずっしりしてるもん。

オアシスみふねさん：はい

園田：このパイのサクサク感とリンゴも主役って感じがしますね。

オアシスみふねさん：まさにおっしゃる通りです。ありがとうございます。

園田：わー、これ、ぜひセットで買ってほしいですね。

オアシスみふねさん：そうですね。まあ、私からそれ言っちゃまずいでしょうけども
(笑)

園田：いや、言いましょう、言いましょう！自信持ってどっちも、素敵な商品ですか
ら。これ買って、試合見て、感想を言い合いながらお茶会もいいかもしれない。

オアシスみふねさん：私も先ほど試合見てたんですけどもね、とってもハラハラする
迫力のある試合ですね。

園田：そうですね。ゴールボールで会場静かだけど、結構ドキドキしますよね。

オアシスみふねさん：そうなんですよ

園田：不思議な感覚ですよ。

ありがとうございます。

オアシスみふねさん：どうも、ありがとうございます。

FM 佐賀特別番組

SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技

先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしています。

今、園田有由美さんがレポートしてくれた、障害福祉施設によるマルシェは
この後行われる6つの競技会場でも開催されます。

ぜひ、そちらもお楽しみに。

今回の大会では競技役員、審判委員、競技補助員によるスムーズな試合進行。

選手をサポートする先ほどのサガンティア、神埼清明高校の皆さんのほかマルシェ
の店員さんなどたくさんの方が携わっていました。

そして、コートではレポーターやスポーツ MC として活躍中の三井雄司さんがお客様
と一体になってゲームを盛り上げてくれました。

(三井さんによるインタビュー)

三井さん：さあ、この第2回大会3位に輝きました！

今後、どんなチームになっていきたいか最後をお願いします。

KYUSHU OWLS：そうですね。日本選手権予選に出るのもっと強化して、
チームワークを最大限に発揮できるようなチームにしていきたいです！

三井さん：ありがとうございます！今後の活躍も期待しております。

今大会3位に輝きました KYUSHU OWLS（九州アウルス）の皆さんでした！

ありがとうございました！

さあ、そしてこの後は、お客様、そして選手の皆様。コートにご注目ください。

みにみにのライブがスタートします。

みにみにの皆さん、よろしく！

(みにみに ミニライブ)

ひぜんりさ：皆さん、こんにちは

りゅらちー：こんにちは

ひぜんりさ：選手の皆さん、熱い試合お疲れ様でした！

そしてこの後もあっている決勝戦に向けて私たちが歌を通して応援が届きます！

よろしくお願いします！

りゅらちー：よろしくお願いします！

徳丸：SAGA パラスポ 2026 は、佐賀県独自のパラスポーツの全国大会ということで
地元、佐賀をはじめ、各地から合わせて7チームが出場しました。そんな全国から集
まった皆さんを歌で盛り上げてくれたのが、先ほど食レポも披露した園田有由美さ
んと佐賀のアイドル、ひぜんりささんによるみにみに。

そして、同じ事務所のりゅらちーと AMaRe さんでした。

広い体育館をいっぱいに使ったパフォーマンスで合計4曲を披露。

選手も会場もスタッフも役員も巻き込んださすがのライブでした。

では、当日も披露したこの曲をお送りします。

ひぜんりささんで、『りさちーなんなーランド』

(曲)

徳丸：この時間ブースには、このお二人にお越しいただきました。自己紹介をお願いします。

中妻選手：高知 MKT から来ました中妻と申します。宜しくお願いします。

徳丸：よろしくお願いします。そして！

田中選手：同じく高知 MKT から田中勝弘です。

徳丸：よろしくお願いします。

チーム名、高知 MKT ということは高知からお越しですね。

中妻選手：そうです。

徳丸：ようこそ佐賀へ！お二人チームとして佐賀に来るのは？

田中選手：初めてですね。

中妻選手：初めてになります。

徳丸：個人としても初めてだったりしますか？佐賀？

中妻選手：そうですね。

徳丸：ようこそ佐賀へ！

中妻選手：すごくいいところですね。

徳丸：嬉しい～佐賀に来て何か佐賀らしいものに触れられましたか？

中妻選手：そうですね。話をいろいろ聞かせていただいて一番驚いたのが生きたイカ

を食べるということで。生きたイカを食べたことがないので吸盤とか口の中で、くっついて痛くないのかなとか…

徳丸：あ、今想像の話されてます？（笑）

中妻選手：ごめんなさい（笑） 聞いた話で（笑）

徳丸：食べられてない？

中妻選手：食べてはないですね。

徳丸：佐賀に来られたのはいつですか？

中妻選手：昨日のお昼ですね。

徳丸：初日に来て、で帰られるのは？

中妻選手、田中選手：今日ですね

徳丸：じゃあもう佐賀の思い出はもう、この SAGA パラスポのみという（笑）

中妻選手、田中選手：そうですね。

徳丸：であれば、より楽しんでいただきたいなというところなんですけれども（笑）

今、試合終わったばかりということでお疲れ様でございます！

中妻選手、田中選手：ありがとうございます

徳丸：どうですか？たくさん試合にも出られていると思うんですけど、この佐賀パラスポの印象としてはこういった大会ですか？

田中選手：楽しいです！スタッフさんも多くて温かいですし、皆さん温かいですし、すごい僕らもやりやすいし、楽しかったですね。

徳丸：楽しんでいただけてじゃあ、今の佐賀の印象は結構いいぞ！という

中妻選手：とてもいいですね！

田中選手：また、できたら来たいなと

徳丸：嬉しい～ゴールボールの魅力ってどういうところにあるんでしょうか？

中妻選手：そうですね、僕が一番魅力に感じるのはやっぱり音と触覚だけを頼りにコートを自由自在に動き回ってプレーするところは他の競技にはなかなかないことなので、素晴らしいですし、晴眼者の方も一緒になってプレーができる競技ですので障害の有無を問わず一緒にプレーできるこの競技はとても素晴らしいものだと思います。

徳丸：みんなが楽しめることが一つの大きな競技ですよ。

中妻選手：はい

徳丸：では、最後にリスナーの皆さんに一言ずつメッセージをお願いします。

田中選手：皆さん一緒にゴールボールをやしましょう！

中妻選手：また来年、佐賀に来たいと思いますので一緒にまたゴールボール見に来てください！

徳丸：高知のシーンが盛り上がっていくことを応援しております。

一緒に頑張っていきましょう！

中妻選手：ありがとうございます。

田中選手：ありがとうございました。

徳丸：この時間、高知 MKT 田中勝弘さんと中妻智也さんにお越しいただきました。

ありがとうございました。

中妻選手、田中選手：ありがとうございました。

SAGA パラスポ 2026「ゴールボール」競技に、遠く四国からお越し頂いた高知M K Tの皆さん。今回、スケジュールの関係で比較的弾丸ツアーだったということで次回は、ゆっくりサガを楽しんで欲しいですね。

改めて、今回の大会には、只今の「高知M K T」をはじめ、遠く埼玉から「Triple Search」、福岡から「博多M E N隊」「KYUSHU OWLS」。地元佐賀から「SAGAN CO（サガンシーオー）」「佐賀盲ストライカーズ」そして「ブンブン」という、合わせて7チームが参加し2日間にわたって戦いが繰り広げられました。

そして、その頂点に輝いたのは・・・

（優勝決定時音声）

古賀選手：はい、Triple Searchの古賀です。よろしくお願いします。

徳丸：よろしくお願いします。そして

沢田選手：Triple Searchの沢田です。よろしくお願いします。

徳丸：よろしくお願いします。

選手のお二人にお越しいただきましたけれどもこのTriple Search全国的にも強豪チームですけれども古賀さん、実は出身が佐賀なんですよね。

古賀選手：はい、そうなんですよ。

徳丸：おかえりなさい

古賀選手：ただいมาแล้ว。ありがとうございます。

徳丸：埼玉の方はチームも多いという話をさっき聞いて、たくさん大会も出てらっし

やると思うんですけども全国的に見てこのSAGA パラスポどうですか？感触として
沢田さん。

沢田選手：参加させていただいて開会式の演出とかもとても壮大で。あと、県知事が
来られてお話しいただいたりですとか、佐賀県のパラスポーツに対しての思いって
いうがすごく強いなというふうに感じたので選手としても、とてもやる気が出る開
会式とかイベント。アリーナの司会の方もそうですけど、その力が入ってる感じがと
ても嬉しいです。

徳丸：選手の方から見て、たくさんの大会に出てる方から見てもかなりいい大会って
いうことで？

沢田選手：モチベーションになりますね。

徳丸：嬉しい！それが佐賀にあるっていうのがやっぱり我々の誇りになりますけれ
どもお二人から見て、このゴールボールの魅力って一言で言うと？

古賀選手：特にやっぱ男子のゴールボールになると日本代表の人とかも含めてすご
い球が速いとか、音が消えるボール。ボールはバウンドしてるんだけど音が消えてた
りとか、あといろんな速い移動攻撃だったり。そういう音だけじゃなくて見る側か
らしてもいろんな小技みたいなのがたくさん入ってて見応えが、すごいあるスポー
ツなんじゃないかなって思ってます。

徳丸：見れば見るほどハマるね、見どころがたくさんあるということで沢田さんから
も一つあれば。

沢田選手：3人のチームで戦うんですけどみんながアイシェードっていう目隠しをし
て戦っていて、全員が同じ条件のもと一つの勝利に向かってプレーできるっていう

魅力があるかなと思います。

徳丸：では、最後にお二人から一言ずつ

リスナーの皆さんにメッセージをお願いします。

沢田選手：今、ラジオということで、自分たちがやってるゴールボールも音だけで試合の状況が分かったりとかプレーしたりするので。

今、ラジオを聴いてる方々、何かを聴いて情景を思い浮かべることには慣れてる方が多いと思うので、日本選手権とかも YouTube で配信されたりしていますので、もし興味がありましたら、よければ見ていただいて、またゴールボールの普及にもつながると思うんでぜひ見てみてください。

古賀選手：ゴールボール、いろんな各県で体験会とかも開かれてたりとかするので、もし、近くでやってるっていうのを見かけた際はぜひ参加していただいて。コートの中のラインの中にタコ糸が入ってたりとかボールの重さを実際に触って、感じてもらったりとか、ボールを受ける衝撃っていうのも体験会を通して知ることもできたりするので。YouTube でも配信もされてるのでそういうのをきっかけに興味を持っていただいてゴールボールは見るだけでなく、実際やるとすごい楽しいのでぜひ、皆さんも機会があったらやってみてください。

徳丸：埼玉県からお越しの Triple Search の古賀建成さん。そして、沢田和也さんにお話を伺いました。

ありがとうございました。

古賀選手、沢田選手：ありがとうございました。

第2回 SAGA パラスポ 2026

FM 佐賀特別番組 SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技

先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしてきました。

いかがだったでしょうか。

最後に、佐賀の様々なパラスポーツの発展・振興に力を尽くしてこられ、今大会では競技委員を務めたこの方に大会の総評を含めてお話を伺いました。

徳丸：では、ブースにはこの方にお越しいただきました。お名前を教えてください。

金丸さん：金丸哲也と言います。よろしくお願いします。

徳丸：よろしくお願いします。お疲れ様でした。

先生はずっとこのゴールボールに限らず、視覚障害のある方のスポーツにずっと関わってこられたんですね。

金丸さん：そうですね、種目で言うと色々あるんですけども、ゴールボールはパラリンピック種目なんですけどそれ以外の種目で、全国障害者スポーツ大会の種目にブラインドベースボールというのがあります。

それから、サウンドテーブルテニスというのがあります。

そのあたりも指導をずっとしてきています。

徳丸：どれぐらい前から指導を？

金丸さん：15年くらいに前になります。

徳丸：佐賀のこの業界の第一人者として、たくさんの教え子さんとか、生徒さんとか

選手の方とも関わってきてると思うんですけど、今日もたくさん出られてたんですよね？

金丸さん：そうですね。

徳丸：どうですか？そんな教え子さんたちの戦いを見て

金丸さん：そうですね、県外から強豪が来てたんで、3位以内に、佐賀県のチームが入ってほしかったっていうのはありましたけど。

徳丸：なるほど。やっぱりそれぐらい熱を込めて、応援してらっしゃるからこそということでしょうけれども。

金丸さん：その中でも古賀建成君という優勝した Triple Search の選手が、佐賀県立盲学校に勤務してた時の教え子だったんで。彼の成長を、肉体的にも精神的にもすごく成長していて。強い古賀建成を見せてもらいました。

徳丸：頼もしい存在が、またどんどん出てきてると思うんですけども。

この SAGA パラスポ 2026 ということで 今回、第2回目。前回と比べてどうですか？

金丸さん：去年が3チーム、そのうち2チームは佐賀県のチーム

福岡から1チームが来てくれて。ここでやりましたけども。

その時と比べれば、それはもう3倍4倍ぐらい昨日今日は盛り上がりましたね。やはり参加チームが多かったこととレベルが高い選手が来てくれたことが一番です。

徳丸：先生目から見てもやっぱり、進化してるっていうのは？

金丸さん：明らかでした。佐賀県内でこの競技レベルのゴールボールが開催されて、試合を見れたのは、もう初めてですね。

徳丸：これからどうなっていくといいなとか どういうふうにしていきたいなとい

うビジョンはありますか？

金丸さん：とにかく私は県内の ゴールボール人口を増やしていきたいと思ってます。

要するに競技人口を拡大する ということです。

そのためにはみんなの大会にする。これ全国大会ですけど

県レベルのゴールボール大会もやってます。

まず、その参加者をもっと増やして、底辺を拡大して、この大会につなげられるような選手を生み出していく・作り出していく。

そういったことがこれからの課題と思ってます。

徳丸：では、最後にリスナーの皆さんに メッセージをお願いします。

金丸さん：SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技、無事終了しました。

来年も、この大会は続いていくと思います。さらにレベルアップして、たくさんの参加チームがこの佐賀に集って、この大会がこれまで以上に盛り上がっていただければと思っています。

徳丸：この時間、SAGA パラスポ 2026 競技役員の金丸哲也先生にお話を伺いました。

ありがとうございました。

金丸さん：お疲れ様でした。ありがとうございました。

徳丸：実は私、徳丸英器。ゴールボール競技を生で見たのは初めてだったんですが、この『静寂の中の格闘技』と 呼ばれる所以が、ヒシヒシというか ビンビンとビシビシ伝わってきました。

選手の皆さんとも話していたんですが、思った以上にアクティブで、激しい競技です

し、戦略に満ちているのを感じて、初めて見たんですけど、すぐに熱くなれる。

そして、どんどん深みを感じられるような素晴らしいスポーツでした。

これからも応援したいですし、やってみるのも楽しくて、体験もできてよかったなと思います。

先程、先生がお話になっていましたけれども佐賀からいい場所がある、いい体感がある。佐賀からまたこのスポーツも熱く広がっていけばいいなというのを感じられた素晴らしい一日だったなと思いました。

佐賀県独自のパラスポーツの全国大会 第2回 SAGA パラスポ 2026 は、今回のゴールボール競技を皮切りに来年3月まで県内各地で競技が行われていきます。

次回は10月3日と4日。唐津市文化体育館で開催される車椅子バスケットボールです。

競技用の車椅子同士がぶつかり合う迫力のあるゲームをぜひご覧ください。

FM佐賀では大会2日目の10月4日、日曜日に今回のような公開録音を実施。

MCはDJYUYAさんです。

では、その後のスケジュールもご紹介しましょう。

フライングディスク・11月22日、日曜日です。

会場は鹿島市陸上競技場。

公開録音のMCは椎木樹人さん。

この日は福岡で活躍するアイドルグループ「IQ プロジェクト」から研究生の選抜ユニット「BudLaB」のミニライブもあります。

続いてバレーボール・聴覚障害の部

11月28日土曜日、29日日曜日

芦刈町の小城のりスポーツセンターで開催。

FM佐賀公開録音のMCは園田有由美さんです。

続いてバレーボール・知的障害の部

12月5日土曜日、6日日曜日

鳥栖市のサロンパスアリーナ MCはコガ☆アキさん。

続いてボッチャ

来年1月30日土曜日と31日日曜日です。

開催はSAGAプラザ

MCはサトユミ☆さんです。

そして、最終競技ソフトボール

3月13日土曜日と14日日曜日の開催。

太良町のB&G海洋センター運動広場であります。

MCは藤咲まりなさんです。

ぜひ会場でFM佐賀パーソナリティと一緒に応援しましょう。

大会の詳しいスケジュールや内容は、第2回SAGAパラスポ2026公式ホームページ
をチェックしてください。

ちなみに、これからでも参加できる種目やボランティアがあります。

まず出場者です。

大会では、現在 11 月のフライングディスクと来年 1 月のボッチャで出場選手を募集しています。

締め切りはどちらも今月 9 月 30 日です。

また、フライングディスクでは同時に大会の運営や選手のお手伝いをするボランティア、サガンティアも募集中です。

気になった方は大会ホームページをご確認ください。

FM 佐賀特別番組

SAGA パラスポ 2026 ゴールボール競技

この番組は佐賀県の提供でお送りしました。

ご案内は徳丸英器でした。